

2019年1月25日  
株式会社幸楽苑ホールディングス

“味の改革”を中心にした「新幸楽苑」四本柱改革で新幸楽苑旋風到来！！

## 第3四半期も増収増益で上方修正！

主力商品の「極上中華そば」・「餃子『極』」は遂に1,000万食の大台突破へ。

株式会社幸楽苑ホールディングス（本社：福島県郡山市、代表取締役社長：新井田 昇）は、2018年4月に「味の改革」「マーケティング手法の抜本的転換」「保有資産の活用と店舗ポートフォリオの最適化」「筋肉質な経営」を四本柱に掲げる『新幸楽苑』の戦略を発表しました。その結果、4～9月期の業績は前年対比で大幅な増収増益を達成しました。

### 1. 第3四半期は増収増益、好調を継続

『新幸楽苑』としての戦略を実行し、第3四半期の連結決算では、売上高31,000百万円（前年同期比5.2%増）経常利益1,498百万円（前年同四半期実績35百万円）と増収増益となりました。

11月にはSNSによるお客様の声を反映した、期間限定商品「崑伝(きでん)らーめん」の復活、12月にはクリスマス感謝祭として「極上中華そば」(税込421円)を合計51,700名様に10円(税込)でご提供し、SNSでの話題に繋がりました。さらに、V字回復を実現した『新幸楽苑』戦略の第2章として、改革四本柱に加えQSCのレベルアップを目的とした改革を発表し、幸楽苑64年の歴史上初めてとなる、2018年12月31日(月)15時～2019年1月1日(火)終日の年末年始を休業。2億円弱見込まれる売上よりも、働く仲間の士気を優先いたしました。年末年始休業により、売上への影響も懸念されましたが、多くのお客様に支えていただき、12月も大幅な客数増で、9月からは4ヶ月連続既存店客数前年比も100%以上達成と好調な業績を継続しております。第4四半期におきましても、さらに『新幸楽苑』戦略を進めて参ります。

### 2. 好調“新幸楽苑”を支える「極上中華そば」が 1,000 万食、「餃子『極』」は 1,500 万食を突破！

さらに、外食産業として力を注いできた「味の改革」について、象徴的な主力商品「極上中華そば」は、発売と同時に予想を大きく上回るペースでご注文を頂き、2018年年末には「鶏豚濃厚合わせダシ 極上中華そば」は1,000万食の販売数を突破、同時発売の「餃子『極』」は1,500万食の販売数の大台を突破しました。



《 本件に関するお問い合わせ先 》

株式会社幸楽苑ホールディングス 広報マーケティング室 平松・安藤

電話：03-3526-7150 e-mail：kouhou@kourakuen.co.jp